

薬剤師ボランティア活動報告

新潟県薬剤師会災害支援 A・B 班 高須雅史

活動期間：平成 23 年 4 月 2 日(土)～7 日(木)

活動拠点：石巻市立石巻高校(避難者数約 300 名)

総轄者：丹野 佳郎先生

活動人数：14～22 名(毎日人の出入りがあるため毎日人数は異なる)

石巻高校避難所薬剤師会活動項目(4 月 6 日時点)

- ・ リーダー(1 名)
 - 新人ボランティアへの活動・施設説明
 - 薬剤師ボランティア配置決定・避難所巡回地区決定
 - 日報等をパソコンにまとめる・引継ぎノート記入
 - ボランティア活動日報を読み次につなげる
 - OTC 薬品管理、診療所 Dr 不在の場合の処方(状況を見極めつつ)
 - 避難所や医師団から OTC 配達依頼、薬剤師要請連絡等の電話番 etc
- ・ 石巻高校臨時診療所(1～2 名)
 - 9：00～12：00 13：30～15：30
 - 1 日の処方箋枚数 120～200 枚
 - 1 名は市薬剤師会より(4/6 以降は休暇を時々)
 - 他の避難所よりバスで来て一斉診察したときもあり
- ・ 専修大学(1 名)
 - 大学内救護所にて調剤業務
 - 1 日の処方箋枚数 36～56 枚(徐々に枚数が少なくなっているとのこと)
- ・ 渡波小学校(1 名)
 - 臨時診療所での調剤業務
 - 多くの医師団の派遣があり診療所の患者さんも減少傾向
- ・ 女川町立病院(3 名)
 - 調剤業務
 - 新患、再診含め患者数 250 名
 - 4/6～女川町地区避難所医師巡回に同行し調剤
- ・ 女川町総合体育館(1 名)
 - 仮設診療所にて服薬指導・調剤
 - 処方箋枚数は約 50 枚
 - 避難者数 700～800 名
- ・ 東海大学医学部付属病院医療チームに同行(1 名)
 - 午前中は蛇田小学校で診察
 - 各避難所に行き診察

- ・ 避難所のサポート
 - 衛生管理の指導(うがい指導・消毒指導・トイレ管理)
 - OTC供給(必要最低限)
 - 健康状態のチェック(処方薬が希望等)
 - ビタミンB1欠乏症予防活動(アリナミンA配布)
- ・ メロンパンチーム(薬剤師巡回チーム)
 - 日赤Drと薬剤師の混合チームで、避難所周り、処方箋を書き日赤に持ち帰る。それを、日赤で調剤し、薬剤師が避難所へお届けをする。

石巻高校薬剤師タイムライン

- 6:50 朝のミーティング
↓ 毎日また時間により被災地の状況は変わるため朝一番にもミーティングを行う
- 7:00 掃除
↓ 石巻高校の会議室をお借りして寝泊り等行っているため毎日必ず掃除をする
- 7:10 活動開始
↓ それぞれ割り振られた活動を行う。開始時間はバラバラ
- 19:30 夜のミーティング
↓ 翌日の活動割り振り発表その後申し送り
- 20:30 丹野先生こられミーティング
↓ 薬剤師要請情報・被災地医療の現状等についてお話しする。
明日こられるボランティアの人数等伝達

石巻高校薬剤師支部ルール(4/6 時点)

- ・ 9時に校内鍵を閉める
- ・ 黒板に氏名・携帯番号・活動日時・何県か書く
- ・ パソコンに氏名・携帯番号・簡易活動内容を登録
- ・ 食事の時間は決まっていない各個人で
- ・ 毎日のボランティア活動を紙に書き黒板に貼り付ける
- ・ 毎日集合写真を撮る。
- ・ 常識のある行動を
- ・ 無事故・無怪我
- ・ 停電地域は日没までに活動をやめるようにする。(視界等悪く事故のリスク高いため)
- ・ 女性ボランティアは保健室にて就寝
- ・ 女性ボランティア不在の場合は緊急時(患者からの処方薬要求等)対応しなくてはならないためリーダーが保健室にて就寝

活動報告

4/2

- 8 : 00 新潟県薬剤師会館
坂本先生と待ち合わせ。荷物をレンタカー(プリウス)に乗せ出発。
- ↓
- 11 : 40 宮城県薬剤師会館に到着
新潟県薬剤師会からの物資を渡す
生出宮城県薬剤師会会長と挨拶、災害本部長らと現状や今後について話す
新潟県からのボランティアは石巻地区を担当。今後もそのようにすすめるとのこと
石巻地区は丹野宮城県薬剤師会副会長が統轄、現場にて活動内容説明があるとのこと
石巻高校に向け出発
- ↓
- 14 : 40 石巻高校に到着
現リーダー塚田先生(岡山県薬)より施設説明
活動内容について説明
- ↓
- 15 : 20 被災地(津波による被害)へ現状視察を行う
日和山公園へ行き石巻港全域をみる。
石巻港近くまでいき被災地視察
- ↓
- 18 : 00 夕方ミーティング開始
新人ボランティア自己紹介(新潟県薬組)
明日の活動割り振りについて(私は次期リーダー)
- ↓
- 20 : 30 夜のミーティング
丹野先生から被災地の医療の現状等情報提供
明日の割り振りについて

4/3

リーダー引継ぎ

- 9 : 00 千葉県薬より 2名→施設・活動説明 1名は石巻高校診療所へ配置
- 9 : 15 石巻市薬剤師会より地元スタッフ(内藤さん)派遣あり
→雄勝地方の道路開通情報
→千葉県薬 1名と地元スタッフで雄勝地方の避難所開拓指示
- 10 : 00 東北大学チーム薬剤師 4名こられる。1名は石巻高校診療所へ
- 11 : 00 荻浜中学校へO T C配達依頼あり
- 12 : 00 東北大学チーム他 3名は東松島市の現状調査へ向かってもらう。
- 14 : 00 大塚製薬より支援物資受理
- 15 : 30 東松島市老人保健センター職員(保健師)よりO T Cが山積みになっているため整理依頼あり

- 16 : 00 石巻高校診療所担当者より処方箋医薬品の発注方法質問あり
→不明のため発注方法の探索とマニュアル作成依頼
- 18 : 30 夕方ミーティング
→割り振り決定し発表
東松島市老人保健センターにあるOTC薬整理
雄勝地域のOTC配達、萩浜中学校のOTC配達、
女川地区の民家避難所への配達
- 21 : 00 石巻高校避難所の方で、体調不良でこられる。吐き気が主な症状
→ナウゼリン錠 10mg 1錠処方、水分もなかなかとれないとのことだったので、OS-1ゼリーも摂取してもらおう。保健室のベットにて1日休んでもらい、明日一番にDr診察をうけてもらおうようにした。

4/4

リーダー活動

- 7 : 15 富山県薬より4名(薬剤師3名、薬学生1名)到着。施設・活動説明
活動割り振り
- 8 : 30 丹野先生より TEL あり女川地区避難所巡回についてどこを巡回したか調査依頼あり
- 9 : 00 メロンパンチームこられる。避難所の情報交換行う。一部 OTC 譲渡
- 10 : 00 東北大チーム合流。東松島市老人保健センターの薬品整理へ
- 10 : 30 メロンパンチームより TEL あり、蛇田公民館への配達依頼
- 11 : 00 新潟より向井先生到着。新潟県薬物資も到着。施設・活動説明→石巻高校診療所へ
- 15 : 00 九州・沖縄チーム(5名)到着。施設・活動説明→被災地現状視察に向かってもらおう。
- 16 : 15 石巻市薬剤師会スタッフより TEL あり
→牡鹿地区に向かう海沿いの道路が通行可能になると情報あり
- 18 : 00 メロンパンチームより TEL あり、北上地区の避難所に OTC 配達依頼あり
- 19 : 30 夕方ミーティング
→割り振り決定し発表
北上地区 OTC 配達、牡鹿半島避難所開拓、
石巻高校周辺避難所巡回(衛生指導や OTC 不足等の再確認のため)

4/5

リーダー引継ぎ→避難所巡回

- 7 : 30 丹野先生より TEL あり
→蛇田地区巡回の東海大学医師チームに薬剤師1名付き添って欲しいと依頼あり1名蛇田小学校へ向かってもらおうようにした。
- 9 : 00 東海大学医師チーム付き添い薬剤師よりポララミン 2mg 診療所から借りれないか依頼あり、診療所に確認したが在庫がないため断念。
- 9 : 30 カドノワキ小学校にいる看護師より TEL あり
→避難者の方で頭痛の訴えがある人がいる。OTC のノーシンピュアじゃないとアレルギーが出てしまうとのことで、石巻高校にあるか質問あり。
在庫なし、県薬剤師会に在庫があるか聞いたところないとのことでなしと回答した。

11:15 メロンパンチームより蛇田中学校に咳止め OTC 配達依頼あり、

11:30 リーダーを引き継ぎ避難所巡回へ(巡回は5名で)

- ・ 向陽小学校

→OTC 配達依頼品供給(ヒエピタ、のどぬーるスプレー)

日赤医師団巡回に来ているとのこと

- ・ 湊小学校

→津波の被災地区にあり、避難者数は約 500 名、常駐の保健師がいる。OTC はもうあるとのこと、一階は津波が入ってきているが、清掃はした様子。しかし衛生面は△。

野外にボランティアによる入浴施設建設中であった。お湯の消毒方法について相談あったが、水は土ぼこりも入っていて不衛生、水の入れ替えはおこわないし、1 日何人入浴かも不明のため今現地点では消毒方法の断定は難しいと伝える。

- ・ 湊中学校

→津波の被災地区にあり、瓦礫の中に建物があり、最近まで孤立していたとのこと。避難者数は 60 名、一階は背丈ぐらいまで津波が入ってきている。ヘドロも除去できていなく、においものすごい。日赤の医師チームこられたとのこと。今はヘドロの除去をしなければいけない様子。今後も衛生指導が必要。

- ・ 鹿妻小学校

→避難者数 1050 名衛生面は良い。診療所もあり。米軍によるシャワーサービスあり、ボランティアがおおくいて、活気がある様子。

18:00 巡回終了

21:00 石巻診療所より採用薬リストの改定を依頼。現在採用薬調査開始、書き出し。

21:40 石巻高校避難所の方で体調不良でこられる。中学生ぐらいの女性の方で熱があるとのこと。

→以前熱が出たとき開業医からコロナル処方され服用し熱が下がったことがあるとのことだったのでコロナル(200)1錠すぐに服用してもらい、保健室のベットに1日休んでもらうことにした。そして翌日の朝診察受けるようにした。

お母さんも一緒に保健室に付き添ってもらうようにしました。

4/6

東海大学医師団付き添い

Dr 2 名(神経内科・救命救急)・Ns2 名(救命救急)・事務 1 名

8:00 石巻日赤病院集合



9:00 向陽小学校に臨時の診療所

- ・ 処方箋枚数 24 枚
- ・ 日赤への持ち帰り処方箋 2 枚
- ・ 風邪薬多い



9:45 向陽コミュニティーセンター

- ・ 施設に入るも処方箋は出ず



10:10 蛇田公民館

- ・ 避難者のところにいき巡回診察
- ・ 処方箋枚数 4 枚
- ・ 寝たきりの患者さん床ずれ発見、テープにて処置
- ・ 咳止め・頭痛薬・降圧剤等でした。

11:40 石巻養護学校

- ・ 処方箋枚数 3 枚
- ・ レトルミン・デパス服用でも眠れない。医師から何がいいのか質問受ける→手持ち薬だと抗ヒスタミンくらいしかなかったため、提案した。
- ・ 風邪薬・降圧剤処方

13:10 お昼

14:20 日赤にて解散。石巻高校へ

15:00 避難所巡回(三名)

- ・ 女川総合体育館
- ・ 女川町立病院視察

4/7

四国チームが来るまで石巻高校診療所手伝い

9:00 石巻高校から宮城県薬へ

11:00 宮城県薬から新潟へ

15:30 新潟県薬

活動を終えて

被災地では6日間活動を行いました。最初は自分が何をしたらいいのか、何ができるのか不安でしたが、先発隊の先生方や、丹野先生のサポートがあり、毎日一生懸命活動することができました。

現場では昨日必要であったものが今日にはいなくなる、昨日通行できなかった道路が通行可能になる、昨日いたボランティアの先生がいなくなるなど毎日状況が変わっていますが、そこで戸惑わず、先生方みんなと話し合い方向性を決めたり、申し送りをし、活動に穴を開けないようにしたりしていました。

私がいたときは、夜に自分がここにきた理由などの熱い話をしたり、くだらない笑い話をしたりした時間がありました。それはまったく想像していない時間でしたし、私にとってはとても良い時間でした。今回の活動で多くのことを学べた気がしますし、多くの先生方と出会えたことが本当によかったです。自分の活動が復興の助けになったのかわからないですが、一生懸命できたことは本当によかったとおもいます。

今はまだ復興途中ですが、いち早く復興することを願っています。

拙い文章ですが以上で活動報告とさせていただきます。